

令和 8 年度 第 5 回 教育委員会

日時 令和 8 年 8 月 10 日 (月) 15:30～16:30

場所 町公民館・大会議室 【現地視察：国スポリハーサル大会（ハンドボール）】

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	高松 公俊
	教育委員	横山 慎子	教育総務課長	佐藤 光久
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	麻生 昌秀（欠）
	教育委員	山口 昇	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	前田 真紀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			議事録	古高 望

【現地視察】

8 月 8 日から 8 月 11 日の 4 日間で、国民スポーツリハーサル大会（競技：ハンドボール）がてるはドームにて行われた。新しく設置された空調や整備された室内が実際に使用される様子を視察した。

○開会の挨拶

○教育長挨拶

視察を行った国民スポーツ大会のリハーサルや小中学校の閉庁日、幼保小中の先生方に対する研修会が行われること等について触れ挨拶を行った。

○教育長事務報告

（教育総務課 係長）

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（社会教育課 主幹）

教育総務課と同様、行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

○協議事項

（教育総務課 主事）

準要保護者の認定について 7 月時点での追加報告を行った。

小学校：2 名 の追加認定となった。

（教育総務課 課長）

「令和 7 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価報告書」について説明した。この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規程に

より報告するものである。令和7年度も教育委員会において学校教育・幼児教育・社会教育について諸施策を積極的に推進してきたが、その中でも幼児教育は教育総務課に事務委任されたことで、幼保小中の連携がさらに強化されてきていると感じる。

また、2027年に開催される国民スポーツ大会に向けた、てるはドームの床や駐車場、空調については今回視察でも見られたように無事完了し、リハーサル大会を迎えることができる。馬術の会場となる馬事公園の障害馬術会場整備も今年度末に完成予定である。

学校教育においては、小学校に4名、中学校に3名の学習支援員、そして教育委員会に教育相談員とスクールソーシャルワーカー（SSW）を各1名配置している。このような町の予算による手厚い支援はあまり見られないとして、学校の先生方からも高く評価されている。また、不登校対策として教育委員会内に適応指導教室を開設し、連携して学校復帰をサポートしている。

（社会教育課 主幹）

教育総務課と同様、報告書について説明を行った。

社会教育分野では、家庭教育と地域教育力の向上として、コミュニティスクール（学校運営協議会制度）において小中学校への現場視察も含め年4回開催した。また、地域の人材を活かした「照葉まなび教室」を開き、木工、茶道、生け花、料理教室などに62名の小学生が参加した。また、生涯学習の推進として、町講座や自治公民館講座を1,373回開催し、受講者は9,087人であった。てるは図書館については来館者が25,988人と、令和6年より約13,700人ほど減少しているが、11月からてるはドームが改修工事を行っており、ドーム利用者が一緒に図書館を使われるケースが減ったためと考えられる。

（教育総務課 主幹）

「令和8年全国学力・学習状況調査結果」について報告を行った。

小学校では、お米学習や登館日などの地域との連携を行っている。中学校では、照葉樹林マラソン等の地域イベントを学校の授業の一環として、生徒総会の議題や学級討議を通してやれることを自分たちで考えている。これらの取組が、学力・学習状況につながると捉えている。また、1学期に実施した中学校の支援校訪問についてだが、「生徒が自立的に学びを進める姿」や「協働する姿」、「ICTの効果的な活用」があまり見られないという課題が出ている。これは年度初めにあえて課題を明確にし、これからの「伸び代」とするために実施したものである。小学校の支援校訪問は11月を予定している。

（教育委員）

ICTも大切だが、それ以上に教員と子どもの関わり、人と人とのつながりが基本になると思う。教員がしっかり子どもに向き合い、子どもたちの学習意欲を高めていくことが大事である。

○閉会